

平成30年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	公明党
-----	-----

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	文書配布事業 区長制度運営事業	都市経済分科会

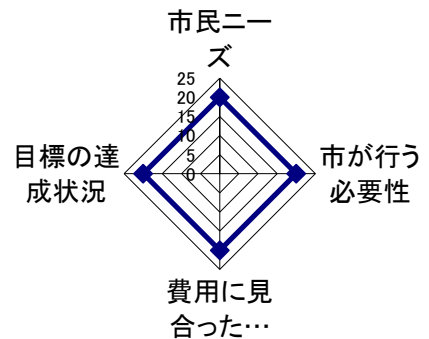
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント	
(1) 市民ニーズ [評価の視点 市民にとって自宅への広報等の文書配布は必要か。]	①きわめてニーズが高い(25点)	○	20	インターネットで情報を取れる人もいるが、市民の多くは広報紙から市の情報を得ているのでニーズは高い。
	②ニーズが高い(20点)			
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)			
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)			
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
(2) 市が行う必要性 [評価の視点 市が市民の自宅に広報等の文書を届ける必要はあるか。]	①きわめて必要性が高い(25点)	○	20	市民が市の情報を知ることは極めて大事なことであり、必要性は高い。
	②必要性が高い(20点)			
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)			
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
(3) 費用に見合った効果 [評価の視点 広報等の文書配布を自治会やシルバー人材センターに委託する費用は適正か。]	①きわめて効果的である(25点)	○	20	郵送料とほぼ同額であり、自治会活動の支援費にもなっている。
	②効果的である(20点)			
	③どちらかといえば効果的である(15点)			
	④どちらかといえば効果的でない(10点)			
	⑤効果が少ない(5点)			
	⑥効果がない(0点)			
(4) 目標の達成状況 [評価の視点 速やかな全戸配布がなされているか。]	①きわめて成果がある(25点)	○	20	自治会の中で班長が配布すべき全戸に責任をもって配布している。(高齢化や仕事による班長の状況については、各自治会で調整していると考える。)
	②成果がある(20点)			
	③どちらかといえば成果がある(15点)			
	④どちらかといえば成果がない(10点)			
	⑤成果が少ない(5点)			
	⑥成果がない(0点)			

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由
自治会, 町内会で緩やかな見守りに役立っている。

課題と反省

平成30年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	日本共産党
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	文書配布事業 区長制度運営事業	都市経済分科会

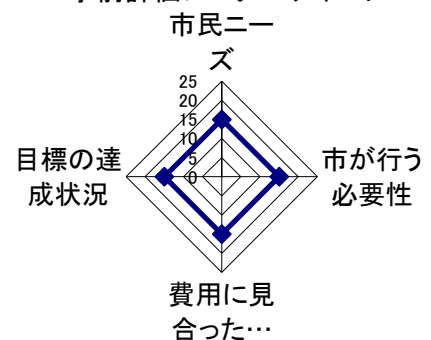
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 〔評価の視点〕 市民にとって自宅への広報等の文書配布は必要か。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ○ ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	15	公文書は市民にとって重要な情報である。
(2) 市が行う必要性 〔評価の視点〕 市が市民の自宅に広報等の文書を届ける必要はあるか。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ○ ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	15	公文書が市民の手元に確実に届く必要がある。
(3) 費用に見合った効果 〔評価の視点〕 広報等の文書配布を自治会やシルバー人材センターに委託する費用は適正か。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ○ ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	15	公文書が全世帯に届けられる視点から見れば、そのための調査が必要でありシルバー人材センターへの更なる委託を求めたい。
(4) 目標の達成状況 〔評価の視点〕 速やかな全戸配布がなされているか。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ○ ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	15	現在の配布数は効果があるが、全世帯配布の視点からは達成されていない。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	60
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由
シルバー人材センターへの委託を強化して市税の市民への還元につなげる必要がある。しかし自治会・町内会の要望も聞いて対処するべきである。

課題と反省

会派名	もりや新風会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	文書配布事業 区長制度運営事業	都市経済分科会

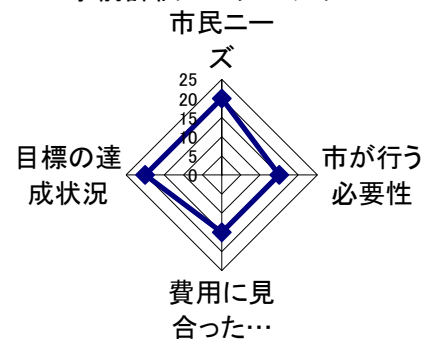
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 〔評価の視点〕 市民にとって自宅への広報等の文書配布は必要か。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ○ ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	20	行政の透明化, 市民の市政に対する関心を維持していくには, 情報の公開制度と執行内容の告示は行政の義務である。
(2) 市が行う必要性 〔評価の視点〕 市が市民の自宅に広報等の文書を届ける必要はあるか。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ○ ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	15	現在も市が直接届けているのではなく, 業務を区長や町会長に委託している。広報文書を届ける様々な方法の検討が行われてきたと思われるが, 自治会も多様化しており, 各地区に一番合理的な方法を模索すべきだ。
(3) 費用に見合った効果 〔評価の視点〕 広報等の文書配布を自治会やシルバー人材センターに委託する費用は適正か。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ○ ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	15	多くの町会では委託された費用は一部を個別配布する班長等に分割されているようだが, 詳細は不明。委託費用が区長の報酬であるかが分からない。配布事業者の検討も必要だが, シルバーセンターの利用も捨てがたい方法だ。
(4) 目標の達成状況 〔評価の視点〕 速やかな全戸配布がなされているか。	①きわめて成果がある(25点) ○ ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	20	月2回の配布日は守られていると思うが, 地区により差があるのではないかと。市民から意見や確認を取らなければ分からない。アパート居住者等の住民がどのように受け止めているのかは課題ではないだろうか。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	70
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由
行政や議会等の広報誌が各戸に配布される事により, 市民として市政の情報が把握でき, 市民生活に必要な情報を得ている。子育て情報や健康診断等, 市民が必要としている情報はホームページでも公開されているが, 紙ベースで確認が出来ることは重要だと思います。高齢者を中心に情報の取得にインターネット等を利用できない人も多と思われる。家庭のテレビが全てネットに繋がる時代になるまでは, 紙ベースの情報提供を続けるのは行政の責務ではないか。

課題と反省

平成30年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや清流会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	文書配布事業 区長制度運営事業	都市経済分科会

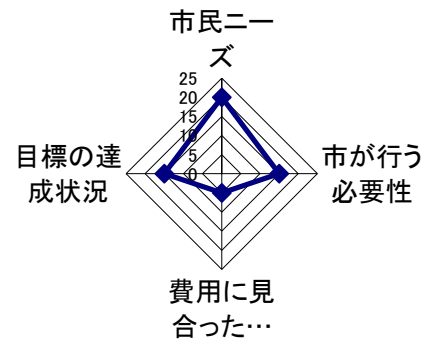
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント	
(1) 市民ニーズ 〔評価の視点〕 市民にとって自宅への広報等の文書配布は必要か。	①きわめてニーズが高い(25点)	20	市からの情報伝達手段として、市民のニーズは高いと思われる。	
	②ニーズが高い(20点)			○
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)			
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)			
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
(2) 市が行う必要性 〔評価の視点〕 市が市民の自宅に広報等の文書を届ける必要はあるか。	①きわめて必要性が高い(25点)	15	公民館等で取得できれば、自宅配布は必要ないという市民ニーズも一定程度存在する可能性がある。	
	②必要性が高い(20点)			○
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)			
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
(3) 費用に見合った効果 〔評価の視点〕 広報等の文書配布を自治会やシルバー人材センターに委託する費用は適正か。	①きわめて効果的である(25点)	5	自治会やシルバー人材センターへの委託として3200万円の費用をかけているが、他の配布手段の検討によりコスト削減の余地はあると思われる。	
	②効果的である(20点)			
	③どちらかといえば効果的である(15点)			
	④どちらかといえば効果的でない(10点)			
	⑤効果が少ない(5点)			○
	⑥効果がない(0点)			
(4) 目標の達成状況 〔評価の視点〕 速やかな全戸配布がなされているか。	①きわめて成果がある(25点)	15	7割超の配布率は達成しており、自宅配布を希望している市民に対しては、概ね対応できていると思われる。	
	②成果がある(20点)			○
	③どちらかといえば成果がある(15点)			
	④どちらかといえば成果がない(10点)			
	⑤成果が少ない(5点)			
	⑥成果がない(0点)			

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	55
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

2万世帯配布と仮定し、月に2回×12か月で年に48万回の配布を行うとすると、年額約3200万円かかっているの、1回の配布で60円以上のコストがかかると考えられる。一方、民間業者によるポストイングなら6円～10円程度で行える。自治会への補助金等が必要なら別に検討すればよく、配布費用に関して透明性を図り、コスト削減を目指すべきである。

課題と反省

会派名	もりや創世会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	文書配布事業 区長制度運営事業	都市経済分科会

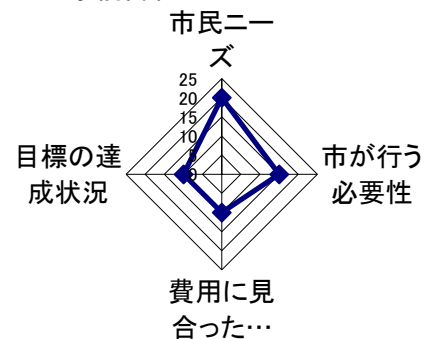
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 〔評価の視点〕 市民にとって自宅への広報等の文書配布は必要か。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ○ ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	20	守谷市は共働き、県外勤務の世帯が多い。外出は基本的に土日が多く、公的機関への外出も少ないことを考えれば自宅へ配布が望ましい。市の広報は積極的に市民が受け取るものではなく受動的に受け取るべきである。
(2) 市が行う必要性 〔評価の視点〕 市が市民の自宅に広報等の文書を届ける必要はあるか。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ○ ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	15	市政に関する文書、広報を配布、公開することは市の義務であると考えられる。しかし配布に関しては外部委託が可能のため③とした。
(3) 費用に見合った効果 〔評価の視点〕 広報等の文書配布を自治会やシルバー人材センターに委託する費用は適正か。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ○ ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	シルバー人材センターでかかっている経費が大きい。配布方法も自治会に渡す際には区長の宅に運ぶだけであり、作業時間の根拠がよくわからないためコストパフォーマンスは良いとは思えない。
(4) 目標の達成状況 〔評価の視点〕 速やかな全戸配布がなされているか。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ○ ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	全戸配布という点で見れば速やかには行われていない。自治会に配ってもらう形式となるので、配布が遅れた場合は広報に掲載された情報の期限が切れている場合もある。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	55
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由
文書配布事業は概ね適正であるといえるが、市内の世帯構成が変化してきていること、コストが大きく掛かっていることを考えると改善の余地が見受けられる。しかし文書配布は町内会において地域のつながりという観点では重要な役割を果たすため継続すべきと考える。

課題と反省

会派名	もりや未来
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
	一般会計	文書配布事業 区長制度運営事業	都市経済分科会

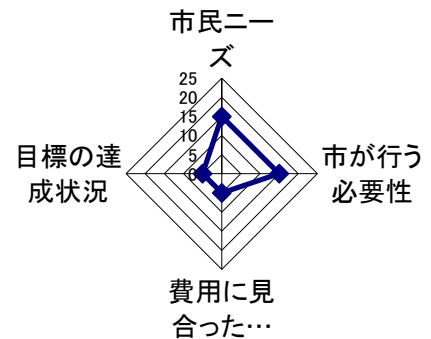
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 〔評価の視点〕 市民にとって自宅への広報等の文書配布は必要か。	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ○ ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	15	市からの情報伝達手段である広報誌等により市政情報を得ることができるため市民ニーズはある程度ある。
(2) 市が行う必要性 〔評価の視点〕 市が市民の自宅に広報等の文書を届ける必要はあるか。	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ○ ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	15	市民への情報提供は責務であり、そのための配布は必要。
(3) 費用に見合った効果 〔評価の視点〕 広報等の文書配布を自治会やシルバー人材センターに委託する費用は適正か。	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ○ ⑥効果がない(0点)	5	現在の配布方法では配布率も上がらず事業費に比較して効果が上がっていない。
(4) 目標の達成状況 〔評価の視点〕 速やかな全戸配布がなされているか。	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ○ ⑥成果がない(0点)	5	自治会加入率が7割ほどで、自治会未加入者に対して申込制であるため速やかな全戸配布は難しい。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	40
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由
現在の配布方法では配布率を見ても、事業費に比べて効果があがっておらず、配布方法を変えることで、配布率の向上と事業費の大幅な削減を目指すべきである。

課題と反省